



今日は終業式。期末面談、
ありがとうございました。

校訓「己を識り能を研く」 教育目標「知の研鑽・清澄な心・壮健な体」 文責：菅原 (理)



道



合唱



〈2 学期終業式に寄せて〉

「酷暑」の夏から雪の舞い散る今日まで、1年で一番長い2学期を、生徒・教職員が共に過ごし、一緒に最終日を迎えられたこと、まずもって喜びたいと思います。

2学期の始業式、私は皆さんに、「挑戦することの大切さ」について話しました。

今の自分より少し上の自分を目指して挑戦する。一步を踏み出さないことには何も始まらないし、踏み出すことでしか見えない景色がある、と。

この2学期は、たくさんの行事がありました。校外学習、職場体験、駅伝、新人大会、各種テスト、文化祭などなど…皆さんはその都度、目標を掲げ、仲間と共に挑戦し、素晴らしい成長を見せました。また皆さんは、日常生活の中で、ひとりひとりが「こうなりたい」という思いを胸に、迷い悩みながらも、自分なりに歩みを進めてきました。その集大成が、今ここにいらっしゃるあなた自身です。あなたはもう、8月のあなたではありません。

加えてこの2学期は、東中生の世界を広げる機会にも恵まれました。10月の東日本合唱祭合唱交流。ドイツの合唱団との出会いに「歌を通して自分を表現する喜び」を学び、生徒会の文化である「合唱」が飛躍的に変わりました。「歌わされる合唱」ではなく「自ら表現する合唱」へ。2、3年生が参加した一関地方中文祭では、発表直後に会場から自然と大きな拍手が沸いたことをうれしく思い出します。11月には、能登半島地震支援に取り組む人たちの「困難の中にいる人を支え、笑顔にしたい」という強い意志と行動力に触れました。まっすぐな思いをまず自らが行動に移す『ファーストペンギン』でありたいという熱い思い。ひとりの力は小さいけれど、行動を起こすことが世の中を動かす力になることを学びました。同じく11月、1、2年生が鑑賞した岩手県中文祭。県内の、自分たちと同じ中学生が大切に築いてきたそれぞれの地域や学校の文化に触れ、岩手の広さと郷土の豊かさについて考える機会となりました。来年度は本校が、あの県民会館の舞台に立ちます。今から楽しみです。

さて、明日から冬休み。前期生徒会長三澤愛琳和さんは、かつて生徒朝会で、「自分の選択が自分の在り方を決める」と話しました。私も、全くもってその通りだと思っています。「選択」にはいつも、「自由」と「責任」が伴います。

人生には、頑張らなくてはならない時があります。特に、義務教育の今は、「頑張り」が自分を奮い立たせ、これからの人生を支える大きな自信になります。「頑張った人は、頑張った分だけいい思いをする」~自分を律するという意識をもって、納得できるいい冬休みにしてください。

最後に。能登半島地震が起きたのはちょうど1年前、今年の元日でした。今年、日本の被団協のノーベル平和賞受賞は、それまでの歴史を考えるととても嬉しく名誉なことでしたが、泥沼化するロシア・ウクライナ、イスラエル・パレスチナ関係、国内では長引く不況と円安、闇バイト…私たちは、実はたくさん問題の中に生きています。この冬休みは、世の中の動きを、様々なメディアを通して意識的にチェックしてみてください。当たり前前の生活ができず、苦しさや悲しみの中にいる人たちが、この地球上にはたくさんいます。もしかしたらあなたの隣にもいるかもしれません。災害、政治、経済、日常生活…「想定外を想定」し、「自分なら」と考えながら過ごしてほしいです。

3学期始業式に、生徒・教職員皆が、元気に会えることを、心から願っています。

「生きる」=
「毎日の選択の
積み重ね」

東中生の
輝き

第43回全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会水沢支局地区大会

〈協議会長賞〉 佐藤 莉帆さん(2A)

東北電力第50回中学生作文コンクール

〈秀賞〉 千葉 心遥さん(2B)



12月には二つの団体が来校し、嬉しい表彰がありました。

〈人権作文〉佐藤莉帆さんは、「自分と相手の大切さ」と題し、多様性の社会の中で自分も相手も尊重されるコミュニケーションのあり方と、人それぞれの持つ「強み」と「個性」という面から、互いに理解し合うことの大切さについて、自らの経験を元に、考えを深めました。



〈東北電力作文〉千葉心遥さんは、「みそ汁がくれたエネルギー」と題し、家族で一番早く帰宅する自分が家族のためにみそ汁を作り始めたことで、家族からの「おいしい、助かる、ありがとう」の言葉や弟の空っぽになった器により、家族のお腹だけではなく自分の心も満たされ元気になったという気づきから、周囲への感謝を言葉で素直に届けたいと綴りました。

また併せて、水沢人権擁護委員会から学校賞としてボールを、東北電力からはテント一張をいただきました。生徒の教育活動に、大切に活用させていただきます。



一人一人の熱意に希望！！ 生徒会執行部リーダー研修会(校長とワークショップ編)

12月20日(金)、後期生徒会執行部を対象とする「リーダー研修会」の一環として、校長室にてワークショップが行なわれました。執行部員は「東中の強みと課題」「人が『楽しさ』を感じる時」「どんな東中にしていきたいか」等、改めて意見交換をし、後期スローガンを確認しながら考えを深めました。校長からは、「学校は自ら楽しくするところだ」「自分たちは自分たちの力で変えられる」「目的と目標の違い」「目的を手段化することの危険性」

「失敗を恐れることなかれ(失敗などない、経験である)」「今、求められるリーダー像」等を話しました。

「仲間を増やそうワークショップ」では、執行部員が各々に考える本校生徒会員へのメッセージを新聞にしたのですが、たった10分間でそれぞれが考えをまとめ、したためたことに驚き!! 心に秘めている熱意に希望を持ちました。大したものですよ!!若い人たちの力は無限だなと思わされます!!私たち教職員は、生徒自身が挑戦したいと思っていることを最大限サポートしたいと思っています。これからが楽しみです♪

良いお年をお迎えください

元日に起きた能登半島の地震から始まった令和6年。本校でも酷暑の夏や熊の出没等、振り返れば、様々ありましたが、無事に2学期の終業式を迎えられることを、有難く思っています。

これまでの本校の教育活動へのご理解ご協力に、改めて感謝申し上げます。

本校は、12月28日(土)～1月5日(日)の9日間、学校を閉鎖いたします。どうぞ宜しくお願いいたします。

